

山形県青少年育成県民会議『令和元年度総会』

～5月29日(水)県庁講堂にて開催～

“いじめ・非行をなくそう” やまがた県民運動の展開とさらなる取り組みを決議

【総会概要】

会員や青少年育成団体の関係者約120名の出席のもと、午後1時30分、井上常任理事の進行により開会しました。

はじめに伊藤会長代行が、「菅間前会長が4月から山形県教育委員会教育長に就任され、3月末に会長を退任されたことから、私が会長代行を務めさせていただいている。令和の新しい時代が始まり、社会全体が前向きな空気に満ちていると感じる。一方、青少年を取り巻く現状は依然として事件やトラブルが発生している。県民会議が推進の主体となって関わっている「大人が変われば子どもも変わる」県



○伊藤副会長代行の挨拶

民運動、“いじめ・非行をなくそう” 県民運動をさらに充実、強化していくことが求められている。」と挨拶しました。

続いて、来賓の吉村美栄子知事、金澤忠一県議会議長、菅間裕晃県教育委員会教育長から御祝辞をいただきました。

議事に移り、昨年度の事業報告と収支決算報告、今年度の活動方針や事業計画、収支予算、役員の選任などについて協議を行い、提案された全ての議案が承認されました。(今年度役員は裏面に記載)

そして、役員改選により、新しく鈴木慈氏が会長に選出されました。



【活動方針】

昨今の現状は、少子・高齢化、情報化、国際化が急速に進展し、青少年を取り巻く環境が厳しさを増しています。こうした状況の下、県においては平成27年3月に「山形県子ども・若者ビジョン」を策定し、「子ども・若者の一人ひとりが安心できる環境の中で、自分を大切に、他者との関わりを持ちながら、よりよい社会を共に創りあげていく力を身につけることができるよう、社会全体で子ども・若者の育ちや自立を支援する」こととしています。このような社会状況や県の施策の方向を踏まえて、①心身を健やかに育む、②社会力を育成する、③社会参加、社会的自立を促す、④社会環境の浄化の4点を活動の方向といたします。

この活動の方向をもとに、次の重点事項に積極的に取り組みます。

すずきめぐみ

鈴木慈新会長からのメッセージ



少子化が急速に進展し、社会情勢が大きく変化する中、青少年を巡り様々な課題が顕著になっております。そのような中で、子ども一人ひとりが安心

できる環境のもとで、自分を大切にし自立を図るとともに、他者とかかわりながら、よりよい社会を共に作り上げていく力を身につけていくことが必要と思います。

“いじめ・非行をなくそう” やまがた県民運動や「大人が変われば子どもも変わる」県民運動等の推進、青少年育成意識の醸成や青少年のための環境づくり推進等をとおして、青少年の健全育成に向けた活動と一緒に取り組んでまいりましょう。

～ 令和元年度 重点事項 ～

- ① いじめ・非行防止に係る取組みの推進
 - ・青少年が主体的にいじめ問題と向き合い、その解決を考える取組みを関係機関と一体的に推進する。
- ② 「活動の方向」に係る地域の実践活動の強化、促進
 - ・市町村民会議、県地区青少年育成連絡協議会の活動を支援する。
- ③ 青少年を社会全体で育成・支援する環境づくりの推進
 - ・「青少年の健全育成」の理解と取組みが広まるよう気運の醸成を図る。「青少年を地域で見守り、育み、支援する」安心安全な環境をつくる。

- | | |
|----------------------|-------------|
| (1) 明るいやまがた夏の安全県民運動等 | (150,000 円) |
| (2) 青少年健全育成県民大会開催 | (350,000 円) |
| (3) 少年の主張県大会開催 | (500,000 円) |
| 4. 青少年育成広報啓発事業 | 230,000 円 |
| (1) 機関紙等の発行 | (180,000 円) |
| (2) 啓発活動 | (50,000 円) |

[令和元年度役員]

会 長	鈴木 慈	
副会長	宮田 浩一	伊藤 康則
	安達 英一	小松 功
	長岡 好永	
常任理事	中原 浩子	井上 達也
	菊地 元宏	手塚 宮雄
	元木十四男	佐藤 重勝
	水戸 一徳	細谷 隆良
	齋藤 秀和	
理 事	深瀬 昌三	山口 四郎
	新野 彰	須貝 智
	太田 正則	渡邊 斉
	小棹 俊輔	鈴木 隆一
	高山喜志子	山川祐美子
	門脇 徹	辻原 吉子
	柴田 典子	西方 茂太
	熊谷 岳郎	安部 公夫
	佐藤 佳子	
監 事	森 晃	齋藤 哲也

[事業と予算]

1. 県民会議運営事業 8,120,000 円
2. 県民運動総合推進事業 4,617,000 円
 - (1) 「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動 (3,520,000 円)
 - *市町村民会議等の支援
 - *標語の募集・県民運動の周知
 - *いじめ・非行防止セミナー
 - *児童・生徒と地域の大人の対話会
 - *インターネット利用に関する研修会
 - *ホームページのリニューアル【新規】
 - *プロスポーツ団体と連携した啓発活動
 - (2) 「大人が変われば子どもも変わる」県民運動等地域社会環境づくり推進 (1,097,000 円)
3. 青少年育成意識醸成・環境づくり推進事業 1,000,000 円

新規会員拡大へ

入会のお願ひ

山形県青少年育成県民会議は、これまで、次代を担う青少年の健全な育成を図るため、「大人が変われば子どもも変わる」県民運動や「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動」を展開して参りました。今後も、山形の未来を担う青少年が元気で社会性豊かに育つよう、より一層力を入れて、取組みを展開して参ります。活動や趣旨に御賛同・御協力いただける新規会員の方を募集しております。

☆会員の種類と会費

- ・特別会員(一〇三万円)
- ・賛助会員(一〇五千元)
- ・団体会員(一〇千円)
- ・個人会員(一〇千円)

☆現在の会員数(一、四四五)

平成三十一年四月三十日現在

会員の皆様には会報をお送りするとともに、特別会員は会報及び総会資料に、賛助会員は総会資料にお名前を掲載させていただきます。

【特別会員】

- ・全国JA農業協同組合連合会山形県本部
- ・全国共済農業協同組合連合会山形県本部
- ・一般社団法人山形県建設業協会
- ・一般社団法人山形県銀行協会
- ・山形放送株式会社
- ・出羽三山神社
- ・高橋畜産食肉株式会社
- ・株式会社グローバルマシーン

(敬称略 順不同)